

足立区の景況

これは、令和7年9月上旬～10月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3ヶ月間（令和7年10月～12月）の予想をまとめたものです。

調査対象	製造業 129社 小売業 64社 建設業 70社 サービス業 55社 運輸業 40社
調査方法	面接聴取、郵送アンケート（運輸業）
調査機関	一般社団法人 東京都信用金庫協会
分析・作成	株式会社 東京商工リサーチ

	A	B	C	D	E	F	G
	好調	普通					
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~10	-11~20	-21~30	-31以下
小売業	10以上	9~0	-1~10	-11~20	-21~30	-31~40	-41以下
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~10	-11~20	-21~30	-31以下
サービス業	15以上	14~5	4~5	-6~15	-16~25	-26~35	-36以下
運輸業	15以上	14~5	4~5	-6~15	-16~25	-26~35	-36以下

業種	<前期>			<今期>			<来期>		
									
製造業	業況は3ポイント増の-9と厳しさがわずかに和らいた。 売上額は1ポイント減の-7と前期並の減少が続き、収益は5ポイント減の-12と減益幅が若干拡大した。 価格動向は、販売価格は増減なく23と前期並の上昇が続き、原材料価格は10ポイント減の42と上昇が大きく弱まった。原材料在庫は1ポイント増の-2と不足から適正水準となつた。								
小売業	業況は8ポイント増の-17と大幅に持ち直した。 売上額は6ポイント増の-5、収益は12ポイント増の-12とともに減少・減益幅がかなり縮小した。 価格動向は、販売価格は1ポイント減の28と前期並の上昇が続き、仕入価格は2ポイント増の47と上昇がやや強まり、在庫は増減なく0と適性水準に保たれた。								
建設業	業況は5ポイント増の19と好調感がやや強まつた。 売上額は9ポイント増の19と好調さを大きく強め、収益は2ポイント増の2と増加幅が幾分拡大した。 価格動向は、請負価格は11ポイント増の28と上昇がかなり強まり、材料価格は3ポイント増の46と上昇幅が幾分拡大した。在庫は5ポイント増の3と適性水準から過剰となつた。								
サービス業	業況は増減なく-4と前期同様の厳しさが続いた。 売上額は4ポイント減の3と増加幅が多少縮小し、収益は6ポイント減の-2と増加から減少に転じた。 価格動向は、料金価格は1ポイント減の9と前期並の上昇が続き、材料価格は9ポイント減の23と上昇が大きく弱まつた。								
運輸業	業況は10ポイント増の-4と悪化幅が大きく縮小した。 売上額は2と前期同様の水準で推移し、収益は6ポイント減の-8と減益幅が大幅に拡大した。 価格動向は、サービス提供価格は5ポイント減の5と上昇がやや弱まり、仕入価格は2ポイント増の47と上昇がわずかに強まつた。								

足立区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	原材料高 46.5 %	同業者間の競争の激化 28.1 %	材料価格の上昇 58.6 %	同業者間の競争の激化 41.8 %	人手不足 52.0 %
第2位	売上の停滞・減少 33.3 %	売上の停滞・減少 25.0 %	人手不足 35.7 %	人手不足 40.0 %	仕入価格の上昇 48.0 %
第3位	人件費の増加 20.2 %	大型店との競争の激化 23.4 %	同業者間の競争の激化 25.7 %	人件費の増加 30.9 %	売上の停滞・減少 36.0 %
第4位	人手不足 同業者間の競争の激化 利幅の縮小 18.6 %	仕入先からの値上げ要請 20.3 %	人件費の増加 20.0 %	材料価格の上昇 16.4 %	車両の老朽化 28.0 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 13.2 %	人手不足 利幅の縮小 人件費の増加 14.1 %	利幅の縮小 下請の確保難 17.1 %	売上の停滞・減少 12.7 %	人件費以外の経費の増加 16.0 %

足立区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	販路を広げる 経費を節減する 51.9 %	経費を節減する 54.7 %	経費を節減する 人材を確保する 47.1 %	経費を節減する 人材を確保する 52.7 %	人材を確保する 57.1 %
第2位	人材を確保する 18.6 %	宣伝・広告を強化する 35.9 %	販路を広げる 32.9 %	人材を確保する 40.0 %	経費を節減する 39.3 %
第3位	情報力を強化する 新製品・技術を開発する 12.4 %	品揃えを改善する 28.1 %	情報力を強化する 24.3 %	販路を広げる 36.4 %	車両を新規導入・修繕する 35.7 %
第4位	機械化を推進する 7.8 %	人材を確保する 10.9 %	技術力を高める 22.9 %	宣伝・広告を強化する 18.2 %	労働条件を改善する 25.0 %
第5位	不採算部門を整理・縮小する 7.0 %	店舗・設備を改装する 売れ筋商品を取り扱う 9.4 %	不動産の有効活用を図る 7.1 %	技術力を強化する 10.9 %	新しい事業を始める 21.4 %

注) サービス業は平成22年1~3月期からデータの継続性を重視するため、一般社団法人東京都信用金庫協会が調査したデータを使用しています。

※運輸業のDI値について 令和6年度より、令和4年度以降の運輸業のDI値として修正値を参照しています。

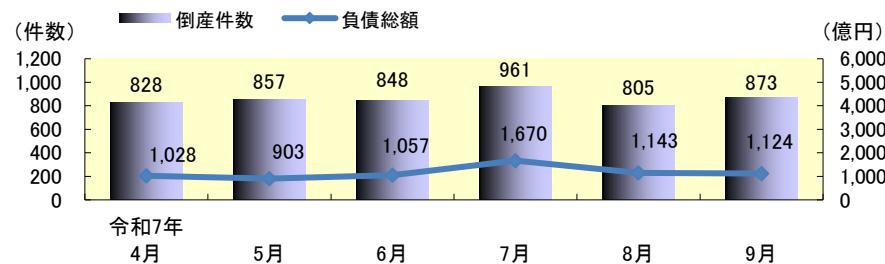
※来期予測について 今後の見通しについては、社会情勢等の影響により実態と差異が生じる可能性がございます。

全国、東京都、足立区の企業倒産動向（令和7年7~9月期）

【(株)東京商工リサーチ調べ】

1. 全国の倒産動向

(1) 概況: 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



全国の倒産動向は、今期（令和7年7~9月）は件数では2,639件と前期（令和7年4~6月）より106件増加し、負債総額では3,937億円と949億円増加した。

(2) 大型倒産

- ① MPH（株）/東京都/脱毛サロン経営/26,000百万円/破産
- ② (株) JS ファンダリ/東京都/パワー半導体ウエハ一製造/16,179百万円/破産
- ③ (株) 片岡製作所/京都府/レーザー加工装置製造ほか/11,673百万円/民事再生法

2. 東京都の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和6年 7~9月	前期 令和7年 4~6月	今期 令和7年 7~9月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	442	450	437	-2.9%	-1.1%
負債総額(億円)	899	491	1,223	149.1%	36.0%

※負債総額について、「億円」単位以下を四捨五入しているため、表とグラフで誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



東京都の企業倒産は、437件（前期比2.9%減）と前期から減少した。

業種別にみると、卸売業、小売業、建設業、不動産業で倒産件数が増加している。

負債総額は1,223億円（同149.1%増）と増加し、業種別にみると、サービス業が最多であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年7~9月		前期 令和7年4~6月		今期 令和7年7~9月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前同期比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	49	306	30	78	48	384	60.0%	-2.0%
過小資本	3	7	2	3	3	5	50.0%	0.0%
他社倒産の余波	28	28	30	47	32	51	6.7%	14.3%
既往のシワ寄せ	41	187	43	76	53	262	23.3%	29.3%
販売不振	312	351	327	266	283	423	-13.5%	-9.3%
売掛金等回収難	0	0	3	4	6	16	100.0%	-
信用性低下	3	1	5	4	2	74	-60.0%	-33.3%
在庫状態悪化	2	3	1	0	0	0	-100.0%	-100.0%
設備投資過大	1	0	0	0	0	0	-	-100.0%
その他	3	11	9	9	10	5	11.1%	233.3%
合計	442	899	450	491	437	1,223	-2.9%	-1.1%

(4) 業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年7~9月		前期 令和7年4~6月		今期 令和7年7~9月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前期比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
製造業	35	297	34	54	22	176	-35.3%	-37.1%
卸売業	70	130	64	159	73	215	14.1%	4.3%
小売業	45	20	36	22	49	71	36.1%	8.9%
サービス業	102	130	122	66	103	390	-15.6%	1.0%
建設業	54	57	56	38	59	54	5.4%	9.3%
不動産業	18	68	22	72	23	129	4.5%	27.8%
情報通信業・運輸業	70	58	58	27	58	158	0.0%	-17.1%
宿泊業・飲食サービス業	30	108	36	13	32	15	-11.1%	6.7%
その他	18	27	22	36	18	12	-18.2%	0.0%
合計	442	899	450	491	437	1,223	-2.9%	-1.1%

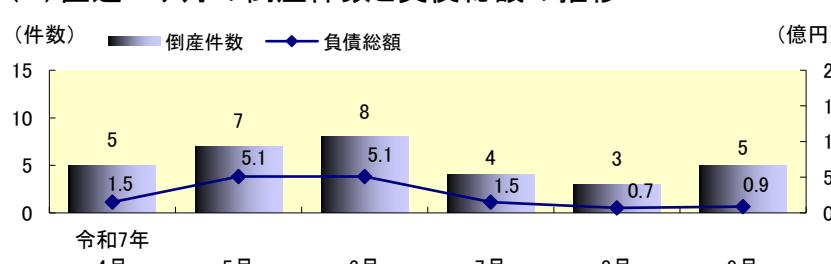
3. 足立区の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和6年7~9月		前期 令和7年4~6月		今期 令和7年7~9月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前同期比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
件数	13	2,255	20	1,189	12	324	-40.0%	-7.7%
負債総額(百万円)								

※負債総額について、表は「百万円」単位、グラフは「億円」単位以下を四捨五入しているため、合算値に誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



足立区の倒産動向は、件数は12件（前期比40.0%減）と前期から減少した。負債総額は3億2,400万円と前期比約8億6,500万円減少した。

業種別にみると、小売業、建設業で3件ずつ、製造業、卸売業、サービス業、不動産業、宿泊業・飲食サービス業、その他の業種で1件ずつ倒産しており、最多負債総額は建設業の9,100万円であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年7~9月		前期 令和7年4~6月		今期 令和7年7~9月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前同期比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	2	30	2	168	2	70	0.0%	0.0%
過小資本	0	0	1	200	0	0	-100.0%	-
他社倒産の余波	0	0	0	0	0	0	-	-
既往のシワ寄せ	0	0	1	20	1	45	0.0%	-100.0%
販売不振	10	2,052	15	711	9	209	-40.0%	-
売掛金等回収難	0	0	1	90	0	0	-100.0%	-
信用性低下	0	0	0	0	0	0	-	-100.0%
在庫状態悪化	1	173	0	0	0	0	-	-100.0%
設備投資過大	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	-	-
合計	13	2,255	20	1,189	12	324	-40.0%	-7.7%

<h4